

Headline

「八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会」 令和6年度総会・第1回連絡協議会開催

4月24日(水)、八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会(会長: 大太平洋金属(株)猪股吉晴取締役 専務執行役員)は八戸パークホテルにおいて、令和6年度の総会を開催し、令和5年度活動状況と収支決算、令和6年度活動計画案と収支予算案が承認されました。6年度は勉強会やセミナー、最新動向の共有、市街地において水素100%による熱電共有を世界初で達成している神戸市への視察や、カーボンニュートラル(以下、CN)形成に向けた先進的な取組を展開している苫小牧市との連携並びに視察を通じ、協議会内外の一層のネットワーク強化を進めていく予定です。

第1回連絡協議会では産学官金関係者約50名が参加。(株)日本政策投資銀行 東北支店業務第二課の傅奈恵氏より、CN推進に関する現状や課題、見通し等について、大太平洋金属(株)、東京鐵鋼(株)八戸工場、八戸製錬(株)、八戸セメント(株)、三菱製紙(株)八戸工場に対して実施したインタビューの回答結果が紹介され(表参照)、今後協議会として何かできるかの指標が明確になりました。

続いて八戸市総合政策部の安原清友次長(兼政策推進課長)より「はちとまネットワーク(苫小牧市との交流/平成30年7月31日交流連携協定を締結)」について、フェリー航路を活用した交流人口拡大や都市間連携による相乗効果を得ることを目的に、「観光、スポーツ、物流・貿易、文化、連携促進」の各分野でさまざまな事業を行っていることが説明されました。

先進エネルギー特別講演では、川崎重工業(株)水素戦略本部プロジェクト総括部の天野克哉氏より、同社の水素事業について「水素をつくる(水電解システム、肥料プラントなど)・はこぶ(液化水素運搬船、コンテナ、トレーラーなど)・ためる(液化水素タンク)・つかう(水素ガスエンジン、燃料電池車両など)」といったサプライチェーン全体の技術を一社で保有する世界唯一の企業として水素関連製品を多角的に展開し、世界中からの引き合いに応じた商用化に向け、産学官あるいは欧州とのさまざまな実証実験等を推進していることが紹介されました。また天野氏は脱炭素に必要な水素関連事業の促進に関し、LNG同様、政府支援による大量導入がカギであると指摘しました。

最後に八戸市市民環境部環境政策課の西村崇志副参事より、「第2次八戸市地球温暖化対策実行計画区域施策編」の概要について市としてさまざまな施策を行っている中、「電力事業者の再エネ電力比率の向上」「大規模工場等での製造や使用燃料に関する技術革新」「次世代自動車の普及やトラック輸送の効率化」「家庭や事業所における再生可能エネルギーの普及拡大」「温室効果ガスの吸収源対策」がポイントであり、行政・市民・事業者が自らの課題とし前向きに取り組んでいく姿勢が必要と訴えました。

交流会も開催され、今後の活動について参加者は、情報交換および地域内外ネットワークのさらなる構築等を通じ、CN促進が加速化する手応えを感じていたようでした。



川崎重工業(株)天野氏の講演に、熱心に耳を傾ける参加者

(株)日本政策投資銀行による インタビュー回答結果 (「総合的な現状や見通し」の抜粋)

- 熱源および製造プロセスにおける石炭への依存度が高く、CO₂排出量削減へ向け調達電力の再エネ・原子力化が重要。
- 既存設備の効率化・省エネ化は各社が掲げる施策で老朽化更新を着実に進めることで一定の省エネ効果が見込まれる。
- 再エネ、原子力由来電力の調達は各社関心があるが、足もとの再エネ稼働状況と将来想定される再エネ電力需要量に乖離があり、実現に向けた道筋の整理が必要。
- 熱源転換の可能性は諸条件の維持ができれば既存製品と同様の品質の製品が製造できることから、製造プロセスの転換よりも議論が先行している印象(既に実証を開始している企業もあり)。
- 製造プロセスの転換は製品品質などへの影響を及ぼす可能性があり、各社検討には慎重な姿勢。
- 水素・アンモニアの導入に関心がある企業は多いがインフラ整備も必要となる。
- 個別では「親会社にてCO₂吸収材開発実施中」「LNGへの転換、水素・アンモニア・マイクロ波導入に向けた実証実験推進中」「モーダルシフト・共同輸送の実施検討」など。



[アクロス]
IP(八戸インテリジェントプラザ)からのお知らせ



「貸し会議室・ホール・テレビ会議システム」のご利用について

会議や打合せ、セミナー、相談会などにご利用ください。また、フリーWi-Fiが使用できるため、テレワークやウェブミーティング、ウェビナーの会場としても利用が可能です。

貸し会議室・ホール

【使用料】

室名	定員 (通常の場合)	面積	料金 (消費税込み)			
			単価/時間	9:00~12:00	13:00~17:00	9:00~17:00
アイピーホール	椅子72名 テーブル64名	165㎡	5,500円	15,840円	20,680円	35,200円
研修室	20名	60㎡	1,980円	5,720円	7,480円	12,540円
特別会議室	10名	24㎡	880円	2,530円	3,300円	5,610円
会議室 A	8名	20㎡	660円	1,903円	2,475円	4,180円
会議室 B	4名	14㎡	550円	1,584円	2,068円	3,520円

- いずれも平日のみの利用(時間外利用は3割増)。
- プロジェクター使用料は **1,650円/半日、3,300円/日**(消費税込み)。
- フリー Wi-Fiは利用状況によっては通信速度が遅くなることがございます。
- 館内は禁煙ですので、敷地内にある所定の喫煙所をご利用下さい。
- ご利用に関する詳細、お申込みはホームページからお願いします。

※詳細は八戸インテリジェントプラザのホームページをご参照ください。
<https://www.hachinohe-ip.co.jp/ip2-2-2-1.html>



アイピーホール
会場とオンラインのハイブリッドセミナー開催の様子



会議室 A
パーティションは、B会議室、特別会議室でも利用可能



特別会議室
オンライン企業見学会開催の様子

テレビ会議システム WEB会議等にご利用ください

【使用料】 1,650円/半日、3,300円/日 (消費税込み)



モニター

LG製 75型 4Kチューナー内蔵 液晶テレビ
Bluetooth送受信 / Apple Airplay / Miracast対応 / Wi-Fi対応
HDMI2.0×2、USB×1、ヘッドホン出力端子×1、光デジタル音声出力端子×1、LAN 端子×1
液晶モニターでは部屋の明るさを保ったまま会議が行えます。

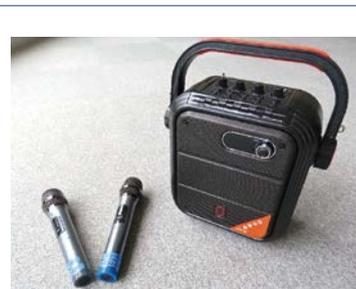


Webカメラ ミニ三脚セット

IO-DATA製 首振り機能と8倍光学ズーム機能を搭載したWebカメラ。
遠くの資料やホワイトボードの文字までもくっきりと映すことができたため、カメラや物を移動させる
ストレスもなく、快適なWeb会議が可能

会議用マイク スピーカー

エコーキャンセリング機能およびノイズキャンセリング機能の搭載により、快適な双方向会話を可能にする会議用マイクスピーカー



ワイヤレスマイクスピーカーセット 【使用料】 会議室利用時は無料

JYX製 Bluetooth5.0が搭載された充電式ポータブルスピーカーとワイヤレスマイク(2本)のセット
録音音声 / AUX入力 / TFカード / USB / BT / マイクロUSBは携帯電話、iPad、テレビ、PCなどの外部デバイスに対応



令和6年度 八戸市知的財産権対策支援事業

「国内特許等出願費補助金」のご案内

— 国内特許等の出願を行う中小企業者に対し、その経費の一部を補助します —

(株)八戸インテリジェントプラザでは、八戸市からの委託により、知的財産の保護と戦略的な活用による地域企業の経営基盤の強化とイノベーションの創出を促進し、地域産業の活性化に資するため、国内特許等を出願する中小企業者等に対し、補助金を交付します。

補助対象者	次のいずれの要件も満たす中小企業者等とします。 ・中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条に規定する中小企業者であり、圏域(八戸圏域連携中枢都市圏構成市町村:八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)内に本社機能を有する法人、圏域内に住所を有する個人又はそれらで構成される共同体であること。 ・市町村税等の滞納が無いこと。 ・反社会的勢力に関わる者でないこと。 ・同一年度内において本補助金の交付を受けていないこと。
補助対象事業	補助対象者が新製品や新技術に係る国内特許、国内実用新案又は国内意匠(以下「特許等」という。)の出願を行う事業とし、次のいずれにも該当するものとします。 ・八戸市内の中小企業者は、令和7年2月14日までに特許庁への出願および経費の支払が完了するもの ・八戸市外の中小企業者は、令和6年12月13日までに特許庁への出願および経費の支払が完了するもの ・特許等の出願に当たり、外部の専門家による先行調査またはその評価を経ているもの ・特許等を活用する今後の事業の計画を有するもの
補助対象経費	補助対象事業に要する経費のうち、次に掲げる経費とします。ただし、各種税金及び振込手数料は除きます。 ・特許等の出願に必要な特許庁出願料 ・特許等の出願に必要な弁理士経費

補助金額(1件あたり)

補助対象経費の2分の1以内(1,000円未満の端数切捨て)で上限額は次のとおりです。

- 1 特許出願
上限15万円
- 2 実用新案登録出願
上限10万円
- 3 意匠登録出願
上限5万円(出願2件まで)

※特許出願・実用新案登録出願・意匠登録出願にご利用いただける補助金です。

お問い合わせ/

(株)八戸インテリジェントプラザ

TEL: 0178-21-2111 (担当: 林崎)

八戸インテリジェントプラザ

「知的財産セミナー」のご案内

(株)八戸インテリジェントプラザでは、昨年度に引き続き知的財産に関する基本的な知識を学んで頂くためのセミナーを開催します。知的財産アドバイザーの富沢知成弁理士がわかりやすく解説致します。この機会に是非ご参加下さい。

第1回 はじめての特許出願

開催日時: 2024年10月15日 13:30~16:00 / 申込期限: 10月10日

特許について気になっているが、まだ出願手続きをしたことがない、この際、特許出願の進め方をものにしてほしい!という方に、特にお勧めする講座です。

【セミナー概要】 1. 特許制度の概要 2. 特許の調査方法 3. 特許出願の準備と手続 4. 最近の話題など
※2023年10月実施のセミナーと、内容は実質的に同じです。

第2回 はじめての商標

開催日時: 2024年11月12日 13:30~16:00 / 申込期限: 11月7日

商標の手続き書類自体はとてどもカンタン。ネットが使えれば、調査などの事前準備もラクラクです。とにかく一度、商標手続きをやっておきたい。という方に、特にお勧めする講座です。

【セミナー概要】 1. 商標制度の概要 2. 商標の調査方法 3. 商標出願手続の概要 4. 最近の話題など
※2023年11月実施のセミナーと、内容は実質的に同じです。

第3回 カタチで権利保護・意匠の使い出あれこれ

開催日時: 2024年12月3日 13:30~16:00 / 申込期限: 11月28日

アイデア・発明は、特許出願で保護しよう!これが、知的財産に取り組み、付き合う上での原則です。しかし、「特許は難しいもの」「高レベル」「文章が難解」「大変そう」「費用が…」という印象を持たれがちです。ならば、意匠出願はどうでしょう?目に見えるカタチに何らかの特徴があれば、それを独占権として保護できる。しかも、比較的低労力・低コストで。さらに、権利としてのパワーも、特許にそっくりなものでもない。本セミナーでは、意匠制度の基本とその使い出について、実例をふんだんに用いて概説します。

【セミナー概要】 1. 意匠制度の概要 2. 保護対象は、物品・建築物・内装・画像・販売形態…
3. さまざまな意匠登録の実例 4. アイデアやブランドも、意匠として保護できる
5. その他_権利期間は25年、外国での意匠保護など
※2023年12月実施のセミナーと、内容は実質的に同じです。

講師:

(株)八戸インテリジェントプラザ
知的財産アドバイザー

弁理士 富沢 知成氏

会場: 八戸インテリジェントプラザ
(2階アイビーホール)定員: 各回10名 **参加無料**

【セミナーに関する お問い合わせ・お申込み】

(株)八戸インテリジェントプラザ

TEL: 0178-21-2111 FAX: 0178-21-2119

URL: <http://www.hachinohe-ip.co.jp/ip3-3-2.html>E-mail: info@hachinohe-ip.co.jp (担当: 林崎)

弁理士による 特許等無料相談

発明・商標など知的財産に関するご質問に、弁理士が無料で対応します(原則として30分以内)。なお、お電話やメールでのご相談にも対応致します。特許・商標情報などの検索結果や、セミナーなどのご要望についてもお気軽にお問い合わせ下さい。



「研究開発機器の貸出・操作・指導

企業、大学、研究機関等における研究開発を支援するため、一企業ではカバーしきれない分析機器などの設備を利用できる環境を整えております。是非ご利用下さい。

機器名	料金/時 (消費税込み)
サーマル電解放出形走査電子顕微鏡 (日本電子(株) JSM-7600F)	9,680円～
真空蒸着装置 (日本電子(株) JEE-400)	440円～
イオンスパッタ (株)日立製作所 E-1030)	440円～
顕微フーリエ変換赤外分光光度計 (日本分光(株) FT/IR-4200+IRT-3000)	8,250円～



サーマル電解放出形走査電子顕微鏡



顕微フーリエ変換赤外分光光度計

八戸圏域連携中枢都市圏関連事業

地域製造業 相談希望者募集

無料

地域製造業の皆さん
お気軽にご相談ください!

地域の製造業の皆様に対し、八戸市が委嘱したコーディネーターが、売上向上、販路拡大、新商品開発、補助金獲得、生産性向上などの課題解決に向けたアドバイスや支援機関・地域企業等とのコーディネートを行います。

こんなお悩みはありませんか？

課題がいろいろあって
何から手をつけたら
いいかわからない

取引先を増やして
売上をUPさせたいが
相手を見つけられない

新しい商品を開発するために
国の補助金を申請したい!

一緒に解決策を
考えましょう!

対象

八戸圏域の製造業者

(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)

支援の流れ

①相談の申し込み

(株)八戸インテリジェントプラザ(受託事業者)若しくは八戸市商工課(商工振興グループ)にご相談ください。

②コーディネーターが訪問して課題を発掘・整理

地域の製造業に関する知見やネットワークを有するコーディネーターが訪問し事業の状況等について聞き取りしながら、課題を発掘・整理します。

③課題解決に向けたコーディネート

整理した課題の解決に向けて、コーディネーターからアドバイスや活用可能な支援施策の情報提供を行うとともに、支援機関・地域企業等とのコーディネートを行います。

コーディネーター

阿部 孝悦氏 (元(株)八戸インテリジェントプラザ 所長)

筋内 武氏 (株)YANAI総合研究所 代表取締役)

村井 京太氏 (グローバルユーション 代表)

八木 清之氏 (八戸まちのコンサル 代表)

向井 誠仁氏 (株)コネクトグローバル 代表取締役)

お問い合わせ

(株)八戸インテリジェントプラザ 営業課

TEL:0178-21-2111 FAX:0178-21-2119 (担当:滝沢)

八戸市商工課 商工振興グループ

TEL:0178-43-9242 FAX:0178-43-2256 (担当:下館)

「紙文化」由来の課題解決を活かし、 新聞社が「ユーザ目線」によるRPA化支援をスタート! 地方企業のためのDX戦略とRPAセミナー

6月17日(月)、(株)デーリー東北新聞社は、(株)八戸インテリジェントプラザ、(公財)八戸地域高度技術振興センター、高度技術利用研究会との共催で、自社のデジタル化経験に基づき、地域事業者等へのRPA化支援に関するセミナーを行い、約40名が参加しました。

RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは、パソコン内で複数のツールに亘って定型的に行っている作業を自動化するシステムで、ノンプログラミングであることが特徴ですが、ツールの多くは高価で、利用料の他ロボット開発費も要し、テスト運用やスモールスタートが難しい点、従事できる社員の有無、費用対効果の見通し、社内における必要性の理解といった問題により、導入が進んでいない側面があります。

講師を務めたデーリー東北の十文字孝太システム開発部次長は「自社は新聞を発行する『紙文化』で、データや業務運用も紙で溢れ、他の事業者同様、デジタル化に課題があった」と現状を説明。このような中、ツール利用料が無料ながら一般的なRPA機能は踏査されている「マクロマン(コクー(株)提供)」に出会い、新聞紙面作成において毎日担当者が関係Webサイトにアクセスし情報を取得していた「新幹線・旅客機・フェリー・高速バスの空席情報」を自動化(①決まった時間にプログラムを起動→②各Webサイトにアクセスし検索・情報収集→③保存・加工)することにより、月60時間以上の削減を実現したと紹介しました。

また十文字次長はこの経験を自社だけでなく、地域の事業者や学校等に対し「伴走型により還元したい」という考えから支援業務をスタートさせ、八戸市の金属加工業である(有)鈴木鉄工所を一例として取り上げました。同社の事務作業はまさに「紙との格闘」でしたが、取引先からの見積依頼対応をRPA化することにより月40時間の削減を達成。「①取引先との発注システムにログインし部品製造の見積依頼データをダウンロード→②これをExcelで加工し必要情報を抽出、納品日毎に同一部品で製造依頼数をまとめる→③部品単位で過去の受注データを検索し受注価格を調べ見積金額を算出」について、RPAプログラムが稼働し処理している状況をスクリーン上で実演しました。このシステムを構築したのはデーリー東北入社6か月、RPA未経験の新入社員。十文字次長はこのような社員でもデジタル人材育成が可能であるとともに、作業プロセスの習得および情報整理力、問題発見力も身につくことがポイントであると指摘しました。

後半はコクー(株)RPA事業部の守山祥平氏より「マクロマン」に関する説明や事例紹介があり、参加した企業からは「わかりやすく、導入・運用のしやすさがよく理解できた」「コストも抑えられ、自社でも自動化したい業務に活用できそうだ。導入を検討したい」など前向きな意見が多く挙がりました。

デーリー東北では今後、RPAだけでなく「業務改善」「クラウド・AI」「データ活用/分析」「IT人材育成」においても体制を整備中であり、十文字次長は「地域の皆様に対し、これからは私たちのノウハウを少しでも寄与できる役割を担っていきたい」と展望を語っていました。



八戸地域高度技術振興センター

令和6年度「研究開発資金助成事業」申請事業者募集のご案内

八戸地域高度技術産業都市地域(以下「地域」という。)にある企業等が行う高度技術研究開発事業に要する経費の一部を助成することによって、高度技術の開発を促進並びに高度技術を利用する企業等の育成を図ることを目的とし、本事業への申請事業者を募集します。

対象事業者	地域(八戸市、十和田市、三沢市、おいらせ町、六戸町、東北町、五戸町、階上町、南部町)に事業所を有し、当該事業所内で活動する事業者(個人事業主も可)。
助成対象事業	①高度技術の開発 ②高度技術、または高度技術を有した機器やシステムを利用した ②-1 新製品、新商品の開発又は製品の高付加価値化 ②-2 生産工程の合理化・省力化 ③その他、当事業の趣旨に合致する場合で、理事長が特に認める事業
助成金額	総事業費の2分の1以内の額であって100万円を上限 (例:①総事業費が200万円の場合は②助成上限額100万円、①が300万円の場合は、②は100万円、①が150万円の場合は、②は75万円となる。)
対象期間	1年以内(研究開発の開始日は「技術開発審査委員会」開催日の翌日以降とし、開発期間の年度跨ぎは可)
申請方法	申請書類(研究開発助成金交付金申請書など)に必要な事項をご記入の上、事務局に提出してください。 提出方法:電子メールにて送付
募集期間	令和6年6月3日(月)～令和6年7月31日(水)
審査方法	「技術開発審査委員会」(8月下旬～9月中旬予定)で審査し採択の可否を決定

詳細はこちらをご覧ください▶ https://www.hachinohe-ip.co.jp/center_pdf/center5/kenkyushikin.pdf





獣医×毒性×シミュレーション×AIで挑む環境汚染問題

北里大学獣医学部 獣医学科 毒性学研究室 講師 武田 一貴

〒034-8628 十和田市東二十三番町35-1
TEL : 0176-23-4371 (代)

背景と目的

医薬品や農薬、化粧品などに含まれる化学物質は私たちの生活に不可欠であり、現在約10万種類もの化学物質が生産されています。一方で化学物質は環境汚染の原因にもなり、人や動物・生態系に悪影響を及ぼす事もあります。この化学物質の安全性を評価する学問が毒性学であり、北里大学獣医学部毒性学研究室では人を対象とした毒性学及び野生動物を対象とした環境毒性学の双方を推進しています。

もちろん化学物質が市販される前には各企業が安全性評価試験を実施しますが、その多くは齧歯類を用いた動物実験です。そこで問題となるのが化学物質の感受性には動物種差がある事です。例えば、私たちが大好きなチョコレートはイヌやネコの中毒の原因となります。これはチョコレート中のテオブロミンに対しイヌやネコは感受性が高いためです。このような化学物質感受性種差は非常に大きく、時に動物種により致死量が1000倍異なる物質すらあります。しかし、世界に175万種いると言われる全生物に対し毒性試験を行う事は当然不可能です。これに対し、当研究室ではコンピューターシミュレーションや機械学習(いわゆるAI)手法を用い野生動物に対する化学物質の毒性影響を予測しています。

研究成果と今後の展望 古紙リサイクル・天然記念物・chatGPT

日本は世界有数のリサイクル大国であり古紙リサイクル率は80%に上るといふ推計もあります。一方で、古紙再生工場排水にはインク由来の化学物質が含まれる事があります。当研究室では排水から検出された化学物質と芳香族炭化水素受容体(AhRいわゆるダイオキシン受容体)との結合性を分子シミュレーションで網羅的に評価するバーチャルスクリーニングを実施し、魚類に対し顕著なダイオキシン様の毒性を発揮する物質を発見しました(図1)。

世界自然遺産登録地小笠原諸島では外来ネズミ対策に殺鼠剤(主成分ダイファシノン)が散布されています。唯一の固有哺乳類オガサワラオコウモリの殺鼠剤リスク評価を実施しました。オガサワラオコウモリは100~200頭しか現存しない絶滅危惧種であり当然殺鼠剤の投与試験はできません。そこで殺鼠剤とその標的タンパク質の分子シミュレーションを実施し、同じ作用機序の殺鼠剤でもオガサワラオコウモリに対し影響しやすい成分と比較的効き辛い成分がある事を見出しました。この他にも近年問題となっている「永遠の化学物質」PFAS類の毒性評価や、毒性を予測する新規AIモデルの製薬企業との共同開発も実施しています。

さて、本学獣医学科では残念ながらプログラミングの講義・演習はございません。という事は当研究室の学生は学部4年の研究室配属時にはプログラミング知識0の状態からこのような研究を進めていく事になります(図2)。そこで役に立つのが、話題のchatGPTをはじめとした大規模言語モデル(LLM)です。餅は餅屋という事でLLMはプログラミングに対し抜群の性能を発揮し、やりたい事を日本語で入力するとそのプログラムを作成する事ができます。実際には一発で上手く行く事は少なく、バグ取りのために最低限の使用上の知識も必要です。しかしながら、プログラミングを基礎から長時間勉強した後でなければ研究を始められないといういわゆる山登り型学習ではなく、まずはchatGPT任せでもプログラミングを始め、必要に応じ専門知識を身に付ける【パラシュート型学習】で実践的かつ効率的に新しい分野での研究を進められています。

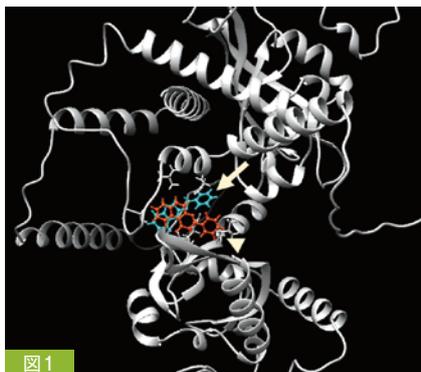


図1

分子ドッキングシミュレーションで得られたゼブラフィッシュAhRとダイオキシン様物質の結合像。矢印はインク由来物質ベンジル2ナフチルエーテル、矢頭がAhR典型的リガンドのβナフトフラボン。



図2

GPU搭載PCを用いた研究風景

研究室ウェブサイト▶ <https://kitasatoxlab.jp/>



創造企業風土スケッチ

No.098

株式会社YSマシン&板金

短納期とコスト削減、 さまざまなニーズに応える技術力で評価が広がる

今年4月に操業スタート!

(株)YSマシン&板金は、十和田市で金属加工業を営む(株)ヨコサワの受注増加に伴い、今年4月1日、八戸市の桔梗野工業団地に立地、操業を開始した。「YSマシン&板金」という特徴的な社名について、横澤和幸社長(株)ヨコサワ取締役専務)は「機械加工と板金をやっている会社であることが、名前を見ただけでイメージしやすい名前になりました」とその背景を語った。

八戸市は人口集積地であり、ここで学ぶ学生・生徒も多く採用面の優位性もある。またいろいろな企業との連繋構築、特に同業種との情報交換や仕事も融通しやすいことから、依頼する顧客側としてもメリットになり得る。同社は新規採用を含めた8名の精鋭社員でスタート。機械加工に従事する20代の社員は、「専門的な技術を身に着けることが出来てうれしい」とにこやかにやがいを語る。横澤社長は今後、15名程度の技術者集団を目指すという。



長さ3m幅1.5mの大型マシニングセンタを導入し大物の機械加工品や溶接品の削り加工を行っている



プレスブレーキは板材や丸棒を折り曲げたり緩やかな曲線形状に加工できる



熟練された溶接技術で鉄・ステンレス・アルミの部品を溶接し一つの大きな製品へと仕上げる

どんな加工でも自在に応える 柔軟性と技術力が信頼の源泉

主に鉄・ステンレス・アルミによる金属加工を手掛けているが、用途は医療分娩関連、半導体製造装置関連、肉加工コンベアフレーム関連、除雪機・農機具部品および建築金物など多岐に亘る。近年は半導体関連と原燃関連が徐々に伸びてきているという。一方、後継者不在などによる廃業が増え、加工先を探しているユーザも近年散見され、受け皿の役割も担っている。マシニング五面加工機、NC旋盤、プレスブレーキ、溶接機、シャーリング、プレス機などさまざまな加工に応える設備が整っており、複数の加工を自社のみで完結できるため、高品質は勿論、顧客の納期短縮やコスト削減に貢献できることが強みのひとつ。また各工程の得意分野を生かしつつ、自ら治具を製作できることから、新規や創造的な依頼にも柔軟に対応する体制が確立している。このことより「どんな加工でも安心して発注でき、納期に対する対応が早い」と評価する声が多くユーザから寄せられている。

目指すは「見せる工場」、 そして地域のものづくり産業発展の一翼を担う

横澤社長は「この先、人口減少による対策としてロボットを用いた自動化をさらに推進し、若い人材やロボット操作経験者を採用したい。そのためものづくりの楽しさや魅力を実感しながらスキルを磨き、ここで働くことで多くの可能性、将来性を感じられる『見せる工場』に昇華させていくとともに、ものづくりを通してお客様、働くひと、青森県に喜びや活力を与えられるような企業をめざしています」と展望。八戸地域のこれからを担う若手社長のひとりとして、その手腕が期待される。

企業概要

代表：代表取締役 横澤 和幸
業務内容：機械加工・レーザー切断加工、曲げ加工、溶接・ショットブラスト、バレル研磨、他
住所：〒039-2246 青森県八戸市桔梗野工業団地3丁目5-43

TEL：080-9255-9462
FAX：0178-20-7739
資本金：1,000万円
従業員数：8名

スタッフ紹介

令和
6年度

(株)八戸インテリジェントプラザ [IP]

(公財)八戸地域高度技術振興センター [HC]



■上段左から

宮下 直美 IP 総務企画課員
三浦奈穂子 IP 総務企画課主任
関 マキ HC 事務局次長
金田 明子 HC 事務局主事
吉田 友美 HC 事務局主事

■下段左から

富沢 知成 IP 知的財産アドバイザー
林崎 公彦 IP 副所長(総務企画課長兼研究課長)
松坂 洋司 IP 所長・HC事務局長兼専務理事
滝沢 真一 IP 営業課長兼研究課主任研究員
インキュベーションマネージャー
中田純一郎 HC 事務局主幹
インキュベーションマネージャー

カーボンニュートラルLPガスの普及に取り組んでいます。

はちえき
八戸液化ガス株式会社



業務内容

LPガス 灯油 ガス・石油機器

リフォーム はちえきでんき

ガソリンスタンド コインランドリー

ハウスクリーニング カルチャースクール

●本社 八戸市卸センター2丁目6-27
TEL.0178-28-2111

～地球にやさしいを考える～



八戸ガス株式会社

八戸市沼館三丁目6番48号
TEL (0178)43-3165
FAX (0178)45-9287



〒031-8511八戸市堀端町2番3 TEL0178-43-5111 FAX0178-46-2810

主な活動 ●はちのへ活性化プロジェクトで中心街活性化、観光振興、取引拡大に取り組みます。
●地域の中小企業・小規模事業者の皆様への経営支援に取り組みます。
●地域経済の総合的な発展のため行政等に意見要望・陳情を行います。
●創業支援・円滑な事業承継の促進に取り組みます。



公益財団法人八戸地域高度技術振興センター

人材育成支援事業、連携支援事業、研究開発支援事業、情報提供事業

〒039-2245 八戸市北インター工業団地一丁目4番43号
(八戸市インテリジェントプラザ内)

TEL:0178-21-2131/FAX:0178-21-2119

<http://www.hachinohe-ip.co.jp/index2.html>

お申し込み
お問い合わせ

株式会社八戸インテリジェントプラザ

TEL 0178-21-2111 FAX 0178-21-2119
<https://www.hachinohe-ip.co.jp/>

公益財団法人八戸地域高度技術振興センター

TEL 0178-21-2131 FAX 0178-21-2119
<https://www.hachinohe-ip.co.jp/index2.htm>

HC・八戸IP News&Topics [TECHNOLOGY AKROS] 125号 発行/2024年6月28日

■編集・発行者/株式会社八戸インテリジェントプラザ Tel: 0178-21-2111 Fax: 0178-21-2119 E-mail: info@hachinohe-ip.co.jp
公益財団法人八戸地域高度技術振興センター Tel: 0178-21-2131 Fax: 0178-21-2119 E-mail: hc21@hachinohe-ip.co.jp
〒039-2245 青森県八戸市北インター工業団地一丁目4番43号

■制作/新光印刷株式会社

<https://www.hachinohe-ip.co.jp/>

